

ア 自作総合テスト	0
イ 自作単元別テスト	2
ウ 標準学力テスト	18
エ 単元別ワークテスト	11
オ ア～エの組み合わせ。(記号を記入)	69
カ その他	0

(2) 測定の結果は、教育課程編成のとき、次のどの項目の改善資料として活用していますか。三つ選ぶ。 N=168 (300%)

ア 重点目標	12
イ 努力目標	36
ウ 年間指導計画	43
エ 教育課程編成の方針	16
オ 授業案立案(週案・日案を含む)	29
カ 指導方法の改善	82
キ 基礎的・基本的事項の精選	43
ク 実態の把握	39
ケ その他	0

《資料1》

〈問1-(3)-②-Bの集約結果〉

教育課程評価実施上の問題点に対する解決策、改善方法(数字は校数を示す)

改善方法(集約)	具体的な改善事例
共通理解を図る 17	<ul style="list-style-type: none"> ○教育課程の意識、重要性の共通理解を図る(8)〈研修会、意義の高揚等〉 ←○教師の専門性・指導力の向上(1) ○共通理解を図って実施する(5)〈方法・内容等具体的なもの〉 ←○具体的な共通理解の方法(3)〈あらゆる場や機会、分掌組織全体(学年会・部会・職員会)、学年会)
計画的に進める 13	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的に実施する(8)〈意図的・計画的) ○評価計画を作成する(5)〈具体的なもの)
組織的に進める 13	<ul style="list-style-type: none"> ○評価のため組織づくり(2)〈日常化・実践化) ←○組織を生かす(2)〈明確化) ←○委員会等の設置(2)〈評価委員会、教育課程委員会) ○組織的に実施する(5)〈組織的な実施) ←○組織化を図る(2)
方法を検討する 21	<ul style="list-style-type: none"> ○評価方法の改善を図る(9)〈工夫、改善、検討、研究) ←方法例2) 簡潔な方法 具体的方法 ○具体的な方法での改善案(4) 指導計画に反省記録・話し合いの時間確保 常時メモの活用・グループ討議の活用 ○PDSサイクルを生かす(4) ←○年度毎重点的に行う(1) ←○到達目標を決める(1) ←
評価項目・観点を設定する 27	<ul style="list-style-type: none"> ○評価項目を設定する(13)〈領域・内容・項目) 細分化 ○評価観点を設定する(14)〈段階・観点・基準) <p>両者共に吟味、検討、研究が含まる</p>
評価試案を研究する 7	<ul style="list-style-type: none"> ○質問紙の改善を図る(2)〈客観的・統計的) ○評価票のような参考資料がほしい(4)〈評価票、手引、具体的資料、参考資料) ←○評価の研究(1)
その他 5	<ul style="list-style-type: none"> ○結果の活用を図る(3)〈結果の活用、情報収集、学力診断検査の活用) ○教育目標との関連(1) ←○児童の変容(1) ←